



第33号

2019年9月発行
広島県中小企業団体青年中央会
広島県中小企業団体中央会

「強い絆で結ばれよう！頼れる青年中央会！」 平成31年通常総会 開催報告ー



田口会長より新任挨拶

今年度の主な取り組みは次のとおり。

- (1) **他団体との連携**…広島キッズシティへの参画、出店青年部の補助を通して子供達の職業体験の場を提供する。
- (2) **海外研修**…海外へ出向くことで、グローバルな感覚を養うとともに、会員間の交流を促進する。
- (3) **県大会、県知事を囲んでの集い**…後継者の選任、育成の経営課題など、青年経営者が今後企業経営を行う上で役立つ勉強会を実施する。
- (4) **後継者育成事業(婚活イベント事業)**…出会いの場を提供し、カップルを多く誕生させ、企業の活性化を図る。
- (5) **広報活動**…Facebook ページをより効果的に活用するなど、リアルタイムな情報発信を実現する。

なお、役員改選では、会長に田口裕司氏、副会長には田崎耕佑氏、真志田宜住氏、河合修孝氏が就任（いずれも留任）。新役員には新任4名を含む理事14名・監事2名が選出された（新役員構成については裏面参照）。

通常総会終了後は、場所をマツダスタジアムに移し、村上理事（中国塗装協同組合）の乾杯の発声により懇親会が行われた。あいにくの雨模様であったが、お互いの事業展開や情報交換を行うなど交流を深め、全日程を終了した。

平成31年4月24日（水）、広島県中小企業団体青年中央会通常総会及び懇親会を開催し、組合青年部関係者等約40名が出席した。

総会では、田口裕司会長（広島県東部機械金属工業協同組合）の挨拶が行われた後、各議案の審議が行われ、いずれも原案どおり承認可決された。昨年に引き続き「強い絆で結ばれよう！頼れる青年中央会」をスローガンに掲げ、新たに始まる「令和」という時代に向けて、青年中央会の活動を通して各組合青年部や個々の企業が今後益々の活性化を図れるよう、繋がりを意識した運営を心がけていくこととした。



総会開催風景



新役員一同紹介



マツダスタジアムでの懇親会

【令和元年度青年中央会事業予定】

日時	行事	日時	行事
4/24	通常総会及び懇親会(広島市内会議室)	11/6	県知事を囲んでの集い(福山)
6/21	全国中小企業青年中央会(UBA)通常総会(和歌山)	11/15	組合青年部全国講習会(秋田)
10/5	広島キッズシティ2019(広島産業会館)	2月上旬	海外研修(深セン)
10/13	婚活イベント(旧和木小学校)	2~3月	組合青年部県大会(広島市内を予定)
10/31	中央会秋期講演会及び懇親会(ホテルセンチュリー21 広島)		

魔法のタオル「エアーかおる」製造秘話

ー平成30年度組合青年部県大会ー



浅野社長よりご講演

平成31年3月5日(火)、柔らかく吸収性が良く毛羽落ちが少ない魔法のタオル「エアーかおる」を開発した、岐阜県の浅野燃系株式会社の浅野社長を講師に迎え、県大会を開催した。

浅野氏は、1995年に先代から事業を承継したが、2000年頃から燃系業界は中国製品の台頭により仕事が激減し、倒産の危機に陥ることとなった。その苦境の中、企業間連携による共同開発により世界に類を見ないタオル「エアーかおる」を開発、見事倒産寸前の町工場を復活させた。

講演の中で、苦境が続く社員や協力工場から責められ、夜寝ることが怖くなったこと、商品開発に毎夜毎夜取り組んだこと、日本各地のタオル問屋を回ったものごとく断られ、自ら売ることを決意し、タオルの名前やロゴマークを自分達で考えたこと、多くの人に励まされ、人の温かさや他人の力を知ったこと、出展経費をかき集め「東京ビッグサイト」に出展し続けた末に一流企業に採用されたことなどをお話いただいた。

同社は岐阜県の小さな町工場であり、中小企業ならではの悩みを抱えてこられたことから、参加者にも親近感があったようであり、浅野社長も「エアーかおる」の製造秘話を包み隠さずお話しいただき、その信念の強さや愚直に開発に取り組む姿勢等、浅野社長の生き様に感銘を受け、参加者は真剣に耳を傾けた。

講演終了後の懇親会では、浅野社長との名刺交換に長蛇の列ができるなど、熱気が溢れる交流の後、全日程を終了した。



浅野社長の講演に真剣に耳を傾ける参加者



懇親会開催風景

最後のフロンティア「ミャンマー連邦共和国」を訪問

—平成30年度海外研修—

平成30年11月21日（水）～25日（日）、視察研修でミャンマー連邦共和国を訪問した。ミャンマーは2011年の民政移管以降、経済改革や欧米の経済制裁解除が段階的に進められ、7%を超える高いGDP成長率を実現し、近年、経済成長が著しい国として注目されている。視察内容は次のとおり。

●JETOROヤンゴン事務所

「ミャンマーは親日的であり気質も日本に似ており、人口も5千万人を超える大きなマーケットが魅力で、日本企業の進出も年々増えている。外国からの実質的な投資額は日本が最も多く、14.8億ドルを投じている。インフラが整っているのは限られた場所で、全体的に道路の整備状況が悪く、停電も頻発する。しかし、日本からのODAも多く投じられていることもあり、今後はインフラの急速な改善が見込まれ、更なる経済成長が期待される。」と説明を受けた。

●ヤンゴンの日本語学校「J. I S M Language Center」

広島県内で鉄工業を営む株式会社矢賀鉄工所のグループ会社。光永社長が日本の人材不足解消の課題と、日本語を学び日本での就労を希望するミャンマー人のニーズを結びつけることで国際貢献とビジネスチャンスを見出し、開校に至った。熱心に勉強している生徒達の授業風景を視察した。

●NisMyanmar Co., Ltd.

ヤンゴン近郊にあるNgwe Pin Lae工業団地内の日系企業。同社は流通加工業や倉庫業等を営んでいる日立物流のグループ会社。この団地内には縫製工場が300軒ほどあり、同社では衣料品の検品などを行っている。内田社長は、「ミャンマーの女性従業員は真面目で親しみやすい。縫製業は今や主力産業のひとつであり大変活況で、当社でも日本向けの衣料品を大量に検品している。一方、停電が多いため、自家発電設備を導入しているが、燃料の経費負担が大きくなるというリスクや、新車の運送トラックを乗り逃げされるリスクは常にあるので、それなりの覚悟と注意が必要になる。」と語られた。

近年、我が国の中小企業においてもアジア諸国を中心に海外展開が加速している。直接異国の産業や経済社会を視察出来たことで、今後の海外展開・ビジネスチャンス獲得の一助に資することが期待される。今後も青年経営者等が新規ビジネスへと繋げられるような企画運営をしていきたい。



青中会員等12名がミャンマーを訪問



日系企業の工場内の作業風景



日本語学校の授業風景

【広島県中小企業団体青年中央会 ～新役員紹介～】

このメンバーで青年中央会を盛り上げていきます！
会員皆様方の一層のご理解、ご支援、ご協力をお願いします。

会 長	田口 裕司	広島県東部機械金属工業協同組合<ユニテック工業株式会社>
副会長	田崎 耕佑	協同組合三菱広島協力会<株式会社吉本コーテック>
副会長	真志田宜住	広島県生コンクリート工業組合<麻生広島生コンクリート株式会社>
副会長	河合 修孝	協同組合JMU呉協力会<山陽興産株式会社>
理 事	中島 武志	広島県電気工事工業組合<中島電業株式会社>
理 事	村上 明裕	中国塗装協同組合<有限会社村上塗装工業>
理 事	田口 伸二	福山地方鑄造工業協同組合<田口鑄鉄株式会社>
理 事	蔵本 泰靖	広島県テント工業組合<有限会社大蔵プロセス>
理 事	新谷 浩之	中国表面処理工業組合<新和金属株式会社>
理 事	堀 泰宏	広島輸送ターミナル協同組合<太陽工業株式会社>
理 事	片岡彰一郎	協同組合ベイタウン尾道<株式会社カタオカ>
理 事	丸田谷幸治	広島県電気工事工業組合<マルタヤ電機株式会社>（新任）
理 事	松田 和雄	広島市指定上下水道工事業協同組合<株式会社マツダ管工>（新任）
理 事	菊田 九	広島県東部機械金属工業協同組合<株式会社明和工作所>（新任）
監 事	三谷 憲生	広島県菓子工業組合<有限会社三谷製菓>
監 事	阿部 卓也	協同組合三菱広島協力会<株式会社アベックス>（新任）

青年中央会 Facebook



広島県青年中央会では、活動PRとともに、組合青年部の輪を拡大していくため、Facebook ページを立ち上げています。
「いいね！」ボタンのクリックにご協力ください！

Facebook 広島県青年中央会 検索



湯崎県知事を招いての「県知事を囲んでの集い」



果実の森で「婚活イベント事業」を開催